

今必要なのは人と少人数学級

越教組ニユース



越谷市教職員組合
ホームページ

十一月二十六日(木)、越教組は市教委と教育予算に関する話し合いを持ちました。今年度は、三学園構想をはじめ、支援員事業の継続・拡充、エアコンの増設、特別支援教室の設置等、職場アンケートをもとに現場の声を届けました。

(組)市独自の少人数学級を

(市教委) 少人数学級の教育的効果は認める、またコロナ下において密をさける役割もあり実現したい。しかし、市独自では対応が難しいため、国や県に働きかけていきたい。

(組)三学園構想をやめ新設校を

(組合) 三学園構想では、過大規模となることをはじめ弊害が多い。避難に時間がかかる。体格差があり校庭遊びが危険。大人数で、遊ぶ時間も制限される。すべてのことに待ち時間が長い。異学年交流が困難になる。

(組)特別支援学級を全校に

(組合) 中学校だが、特別支援的な対応問題が多くなっている。専門的な知見も必要だし、小学校段階で専門的なアプローチがあれば違っていたのではないかと思われる生徒もいる。また、特別支援学級が多い学校もあり、偏在も問題だ。(市教委) 現在小学校23校、中学校9校に設置されている。全校に特別支援学級の設置をという思いは、市教委も同じ。来年度は、

(組)市内陸上大会の見直しを

(組合) 働き方改革の観点から市内陸上大会の見直しを。(市教委) 生涯スポーツという点からも、児童間の交流という点からも教

(組)支援員の拡充・継続を

(組合) 特別教育支援等の増員を。

(市教委) 特別教育支援員の配置は、現在62名配置している。支援学級に小25名・中8名、通常学級小27名・中2名となっている。毎年拡充してきている。今後も予算の拡充を含め、特別教育支援

員等の配置に努める。(組合) 学習指導員、スクールサポートスタッフ(SSS)、トイレの日常清掃員、専門業者による床の清掃など事業継続を。

(市教委) 今年度はコロナ対応ということで、回答時点において学習指導員は41名、SSSは43校に、また

トイレ清掃員などを配置している。ただし原資は国のコロナ対応予算であり、来年度の継続は確約できない。市教委として継続でも継続できるように働きかけていく。

(組)体育館・特別教室にもエアコンを

(組合) 特別教室には専科でずっと授業をする教員がいる。また、体育館は暑くて、計画通りの授業ができないこともある。避難場所となることから、県内では朝霞・

草加・戸田は設置完了、三郷・川口・上尾・蕨が設置中だ。負担が大きいのはわかるが、設置は必要だ。(市教委) 多額の財政が必要となることから、今後の大規模改修の中で整備を

討していく。現在国では様々な補助メニューがあるので、それらをうまく活用し、どうすれば早くできるのか検討したい。

(組)テレビ・タブレットを使いやすく

(市教委) ①大型テレビについては、従来の55インチより大きい65インチのもの各教室に配置。従来の大型テレビも引き上げないので、各学校で特別教室等有効に使ってほしい。

②保管場所について、大型テレビは各教室の入り口付近でない場所。タブレットは原則は教室だが、無理な場合には近くの空き教室も可。

③児童・生徒用タブレットについて、在校中は同じものを使う



④教員へのタブレット配付については、授業を持つ教員全員への整備を考えている。

⑤校内系の無線環境は、十分対応できるものにした。問題があるようなら、セン

この記事は、市教委も確認したのになっています。